



八坂神社 28年ぶりの
子供みこし



No.104

平成27年8月15日発行

たるみず

市議会だより

平成27年第2回定例会

一般質問	2～7
議案等の審議結果	8
常任委員会審議結果	9
予算委員会審議結果	9～11
編集後記	12

発行／垂水市議会
編集／垂水市議会だより編集委員会
鹿児島県垂水市上町114番地
Tel 0994-32-1111 (内線358)

一般質問

平成27年第2回定例会は、5月22日から6月30日まで40日間の会期で開かれ、6月2・3日の本会議で12人の議員が一般質問を行い、全員より「市議会だより」の原稿提出がありました。

- 紙面の都合により主な項目について、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しております。
- 掲載の順番は質問順（質問通告書提出順）です。



交流人口増と中央の観光拠点の整備は？ 選挙運動と地区公民館長の在り方について

堀内 貴志 議員

問

交流人口増がもたらす影響と効果、本市の取組は？また「道の駅たるみず」には、年間約95万人が訪れているものの、そのほとんどが目的地は市外の観光拠点である。「道の駅たるみず」を訪れた人の本市での滞在時間を長くする取組が、経済効果にも大きな期待が持てるはず。そのためにも中央地区の観光拠点づくりは重要な課題である。市は、「森の駅たるみず」を中央地区の観光拠点と話しているが、もっと街の中心地に海を活かした拠点、食を楽しむ拠点、史跡を活かした拠点づくり等の整備が必要になると思うが、どのように考えているか。

答

交流人口増を図ることは、定住促進の施策とともに本市の経済活性化の鍵になる。引き続き観光振興や教育旅行、スポーツ合宿等の推進、猿ヶ城や千本イチョウをはじめとする観光スポット、食材や特産品の情報発信に力を入れる。中央地区拠点として、「森の駅たるみず」であるが、もっとフルシーズンで利用できる観光施設を

構築することが必要であると考えている。

問

地区公民館長は、特別職の公務員の立場にあり、公職選挙法第136条の2第1項の規定によりその地位を利用しての選挙運動が禁止されており、これに違反した場合は処罰される。過去の選挙でこの法律に違反するのではないか、との疑問点や社会常識・モラル面で納得できない、との市民の声があったが、選挙運動と地区公民館長の在り方について伺う。

答

地区公民館の運営方針に關し、社会教育法第23条第1項第2項により「特定の政党の利害に關する事業を行い、または公私の選挙に關し、特定の候補を支持すること」が禁止されている。公民館が主催する事業及び活動を実施する場合は、公民館を直接運営する館長並びに主事は、この法律を遵守し、業務を遂行することが望ましいと考えている。
(その他の質問事項)
○子育て支援センターの充実は？



南の拠点整備について 橋梁の長寿命化の取組について

川越 信男 議員

問

地方創生の実現は、本市の発展に向けて大変重要な取組であると思っております。そのために、「南の拠点整備」を地方創生に位置付けて整備していく必要があるのではと考えますが、現時点で、「南の拠点」に対する市長の考えをお聞かせ下さい。

答

今回、国が示した地方創生の方針は、昨年度末に国の長期ビジョン、総合戦略という形で示されましたが、雇用や経済対策を主とした、まさしく議員がおっしゃる「垂水を元気に」というものでございます。南の拠点整備も昨年4月に一旦見直しになりましたが、今回の地方創生の目的に完全に一致していることから、より効果のある南の拠点整備に向けてチャンスが訪れたと思っております。このため、相乗効果のある戦略をたてていくことが重要と認識しておりますが、本市の魅力ある農水畜産物の加工、販売、流通など産業活動の活性化や雇用の場をつくり、定住につなげていく人口減少への対策なども視野に入れながら、南

の拠点にどのような機能をもたせるのか、そして、その適地はどこなのか、審議会や議会のご意見を伺いながら慎重に検討していきたいと考えております。

問

橋梁整備長寿命化補修事業で平成26年度は5橋の実施で平成27年度も5橋の予定となっているが、何年計画で行う事業なのか。次年度以降も引き続き国の補助金を受けられるのか。

答

橋梁長寿命化修繕計画は、平成24年に作成しまして、市道に架かる104橋の橋梁を50年間で修繕や補修工事など約40億円の概算工費を見込んでいるところでございます。国においても橋梁長寿命化計画は重点項目と捉えられており、今後も継続されるものと考えております。
(その他の質問事項)
○広域行政について



こども会歓迎会 (潮彩町)



人口減(抑制)対策と地域おこし協力隊について

北方 貞明 議員

問

市長は施政方針で人口減対策事業として空き家の有効活用を促進し、人口増を図る事業を計上したと述べておられるが、毎年300名ほど人口減の中、果たして人口増となる事業か。また、地域おこし協力隊制度の活用と人口減対策について考え方を聞かせて下さい。

答

人口減少対策における住環境整備施策の事業で空き家の有効活用を図り、移住や定住を促進することを目的とした事業で転入者の増加が成果として認められるものと認識している。人口は社会増減と自然増減に左右され、この事業は定住転入対策として、少なくとも利用者があれば社会増部分としてカウントできることから人口増を図る事業と考えている。

地域おこし協力隊については、本市の基幹産業である農業、水産業の6次産業化の推進、販売拡大のために専門性のある人材が必要であると十分認識しているが、市全体を見据えた6次産業化の推進拡大といった専門性を持つ人材確保の面では現時

点では難しいが、専門性のある人材については、地方創生の総合戦略の位置付けの取組で優秀な人材確保が行われるよう国や県に働きかけを行いたい。

人口の転出抑制策として総務省の過疎集落等自立再生対策事業を活用し、交通空白地帯である地域において公共サービスの形態等を把握し、分析の結果、買い物弱者の解消のためには、地元の既存店の宅配サービス利用が最も有効でないかと検証されており、今後市民から買い物支援への要望等が出された際は、地域の実情に適した支援に取り組んでいきたい。

- その他の質問事項)
- 国道の冠水対策について
- 東進ハイスクール受講事業について



人口増となる人口減少対策プログラムは見直すべきでは

村山 芳秀 議員

問

昨年5月、人口減少対策プログラムで現人口より二千人多い一万八千人という人口目標(平成35年)を設定された。現状維持の一万六千五百人程度の目標でよかったのでは。将来人口設定は、まちづくりの基本。垂水市は、七十五歳以上も減少している第3ステージで国のペースより早い急速な人口減少が見込まれる。次期総合計画もからめ、地方創生の人口ビジョンを問う。

答

人口減少対策プログラムは平成35年までの10年計画。目標数値の設定は、総合計画の期間内であり問題は無いと考える。地方創生における人口ビジョンは総合戦略として11月までに示し、年度内に最終的な数字を出す。

問

陸上競技場の芝生化について、これからの未来の子供たちのために教育的見地からすれば陸上競技場の機能を残すべきでは。県内19市の中でないのは枕崎市だけ。各地域は、高齢化でますます外に出ない生活を強いられる。陸上競技場を整備する財源で、各地域の運動広場・公

園の安心して遊べる場所の充実を図ったり、グラウンドゴルフが盛んな地区は芝生広場をつくってあげるなど市民のコミュニティの場、健康づくりの場として地域の意見を聞き、計画されてはどうか。今年度の各校区の運動広場や公園を整備する予定は。

答

一昨年10月から「運動公園あり方検討委員会」を設置し、検討してきた結果、多目的利用型への改修が決まった。公園整備については、ふるさと応援基金を活用し、市内6つの公園に幼児用遊具を整備する予定。

問

映画「ホテル」の撮影場所が荒れ放題となっている。「夫婦のテール」からの眺めは、名刺・パンフ等にも使われている。今ある財産観光客と地元の接点をいかに作っていくかが鍵。財源的にかからない整備を。

答

現場を確認して、協議してまいりたい。

その他の質問事項)

- 交流人口のとらえ方について
- 空き家対策条例制定について



垂水市総合防災訓練



城山団地登り口の側面について 早急な対応を！

池山 節夫 議員

問

城山団地登り口の側面については非常に危険な状態にあります。もう既に何回か崩れている。上には木が茂っていて道路の上まで出てきている。もうすぐ梅雨で雨が降って水分を含む、台風が来て根ごと揺らし、道路を全部塞ぐくらい落ちてきたら必ず人身事故になる。対応について伺います。

答

城山団地に上がる城山団地2号線ののり面対策につきましては、台風時や豪雨時に小規模の崩落が数回起こったことから、本市としても、補助事業として整備したかったため、緊急ではありませんが、社会資本整備事業として事業実施の採択をしていただいたところです。早ければ、7月中には発注したいと考えております。

問

プレミアム商品券の発行は予算化されておりますが、この一部を高齢者への生活支援として配布できないか？

答

財源としては、ふるさと納税の中から還元できないか。
今後、国の支援等によりま

して、商品券の発行事業が実施となった場合には、高齢者への支援策等についても考慮してまいりたいと思います。

ご提案いただいたのが、ふるさと

支援基金ということで、そこが増えることによって、高齢者対策の支援

ができていくと思いますので、十分

検討していきたいと思っております。

問

子育て支援策の充実として、出産一時金の増額と高校までの医療費無料化についての見解を伺います。

答

出産祝い金については、子育て支援や少子化対策にも繋がるものと考えますが、どのような効果があるのか、今後、他市の状況等を調査してみたいと考えております。

高校までの医療費無料化については

今後、慎重な検討が必要だと考えて

おります

(その他の質問事項)

○農水産業の6次産業化について

○防犯灯のLED化について



牛根中跡地については特別養護 老人ホームに出来ないか？

森 正勝 議員

問

地方創生の現況と今後の展開についてと最近、都会から農山村、漁村へ移住する人の動きが大きな流れになっているが、垂水市も移住促進センター協議会でも作り、これに

対処する考えはないか。

答 本年5月8日に垂水市まち

ひと・しごと創生総合戦略審議会を

設置し御意見を参考にしながら垂水

市の総合戦略に取り組み、本年10月

をめどに策定の完了を目指してい

きたい。国においては移住交流情報ガ

デンを設置し、県においては鹿児島

県移住交流相談員の設置を行ってい

る。垂水市は総合戦略を検討してい

く中で、雇用創出と合わせて移住策

を検討していく必要があります。

問 牛根中跡地は、平成22年3

月閉校になって5年経過しておりま

す。市長は前向きな案には検討、参

考にさせていただき、あらゆる利活

用の可能性を見つけて積極的に取り

組むと、以前私の質問に答えてお

られます。現在はどうに考えてお

られるか、また特別養護老人ホーム

に改修できないか。

答

跡地利用については、まちづくり計画の観点から地区住民の意向を反映するために、アンケート調査を実施しましたが、具体的な利活用については苦慮している現状である。老人ホームに関しては、提案としては認識しましたので、参考意見とさせていただきます。

問

長寿命化計画により公営住宅の補修や管理がどのように方向付けられたか、また、牛根麓や境の住宅はどのように方向付けられたのか？

答

牛根麓市営住宅については耐用年数が過ぎており、計画では建て替えとなっており、次期計画期間での事業実施に向けた準備を行う予定にしております。牛根境の2つの団地につきましてはいずれも計画修繕等により適切に維持管理を行う予定としております。



カンパチ祭り

初心にかえり 全力投球



川畑 三郎 議員

問 地域振興計画に基づいてま

ちづくりが進んでいます。

答 この事業は、過疎集落生活

圏において、住民団体が住民主導により必要に応じて集落外部の組織や団体とも連携しながら、今後の生活を持続可能として、集落の維持及び活性化を図るための事業です。

8地区で策定が終了、平成25年度に大野地区、平成26年度に新城地区、松ヶ崎地区、牛根地区、水之上地区の5地区で総額5300万円の交付を受け事業を実施してまいりました。

27年度は事業名が過疎地域と集落ネットワーク圏形成支援事業へ変更になり、大野、境、協和、柘原の4地区が事業申請し、5月末に4事業すべてに事業内示をいただきました。大野地区はつらさげ芋を活用した新たな加工商品開発。境地区では、人々のつながりに主眼を置いた事業。協和地区は、多くの人々に海瀧温泉を協和のイメージとして意識してもらう事業。柘原地区は、街路灯のLED化や国道花壇の整備などの実施を予定しております。

各地で特色ある事業展開が行われますよう本市としても支援してまいります。

問 平成26年度に始まった農地

中間管理事業の概要と取組について

お知らせください。

答 農地中間管理事業には地域

集積協力金、経営転換協力金及び耕作者集積協力金の3つの助成金があります。鹿児島県地域振興公社が鹿児島県農地中間管理機構の指定を受けて事業を推進しています。本市は、相談窓口業務や申請受付業務などを農林課に事務局をおく垂水市農業再生協議会が受託して行っており、農林課座談会や集落営農の会合などで事業説明を行っています。

今後も垂水市農業委員会と協力しながら、また中間管理機構の推進員の協力を得ながら推進してまいります。

問 河崎川の雑草や土砂が堆積

している河床の整備計画をお聞かせ

下さい。

答 河崎川は鹿児島県が管理す

る2級河川で、県では堆積土砂で河川断面が著しく阻害されるなど、治水上、緊急性が高い寄り洲除去計画を策定し、平成24年度から実施されています。

河崎川につきましては、平成24年度と25年度に実施されているようですが、雑草、特に暖竹ですが、県の対応としては、地域からの要望や、特に、繁茂して人家に影響があるようであれば、例えば砂防工事を受注した業者に地域貢献としてボランティアで実施していただいているようですが、本市といたしましては、これについては、要望してまいりたいと考えております。

問 河川に架かる橋梁の安心・

安全について、沖田橋から上市木ま

での各橋梁の安全点検はどうなっ

ているか、お聞かせください。

答 平成21年度から23年度で土

木課管理の104橋を全て点検し、

河崎川流域の防災について



梅木 勇 議員

平成24年度に橋梁長寿命化修繕計画を作成したところです。この修繕計画に基づきまして、河崎川では平成26年度に堂脇橋の補修工事が終了しております。

上市木橋については、桁の損傷が激しく片側のみ通行規制を行っておりますが、平成25年度に補修工事の実施設計を発注したところ、上部溝の損傷が激しく、補修内容も架けかえとほぼ変わらない結果となったため、平成26年度内の着工を見送り、県に相談したところ、既設と同じ形状であれば上部溝を架けかえてもよいとのことであったため、本年度実施設計を行い、来年度に架けかえ工事を実施出来ればと思っております。(その他の質問事項)
○急傾斜地について
○砂防事業の予算について



猿ヶ城溪谷・森の駅たるみず
安全祈願祭



住民を守る「防波堤」としての 役割が求められている

持留 良一 議員

問 地域で頑張っている中小企業、産業を応援し、地元の資源を活かした魅力ある事業の発展への支援が必要である。

振興を行政の柱とするために「中小企業振興条例」の制定を急ぐべきではないか。

答 基幹産業である水産事業の活性化を図り、周辺産業や商業の活性化につなげていきたい。「条例」は制度の分析等を行い、各方面から意見も聞いて、商工会などと連携して、検討していきたい。

問 医療・介護総合確保法で医療は、病床数削減や入院日数短縮など、介護は予防給付や利用料負担の見直しが始まる。そうなると、新たなサービスを低所得者が利用できるのか、保険外等のサービスが増えれば経済的理由で利用できないのではないかと、「地域包括ケア難民」という新たな生活困難層が拡大するのではないかと、との懸念がある。住民を守る「防波堤」としての役割を發揮してこそ「いつまでも安心して住み続けられる」という「地域包括ケア」構想の本来の目的が

可能になっていくのではないかと。

答 介護保険だけではカバーしきれない部分を自助の活用や互助の組織化、公助での支援等で問題解決を図っていくことは当然の役割であると認識している。高齢化が進む市としては、財政状況の大幅な拡充を期待する事は難しく、その意味でも地域包括ケアシステムを進めていく必要がある。

問 地方自治体においても、価格の要素である、技術力、信頼性、社会性などを加味した総合評価型入札方式を試行的に導入する方向が進んでいる。要素や評価など問題はありますが、入札のあり方として検討していくときではないか。労務単価が引き上げられたが、効果が期待できるか。

答 労務単価の引上げは労働者離職抑制や安定的な賃金の確保が期待できる。総合評価方式は、技術力等業者の育成やダンピング防止に役立つと考える。反面、事務量や業者間の格差が生まれる。今後、調査研究が必要である。

- その他の質問事項
- 子育て支援対策
- 地方創生・介護問題



園芸ハウスのリース事業・ ファームサラリー制度の創設は!!

感王寺 耕造 議員

問 防災営農を活用し、市単独での園芸ハウスリース事業の考えは。

また、新規就農者に限って、防災営農の補助残25%への市単独での補助金上積みへの考えは。

国の青年就農給付金を受給できない新規就農者も市内で出てきていることから、ファームサラリー制度創設の考えはないのか。

答 大型ハウス導入となれば、300万円程度の自己負担が必要であり、新規就農者には初期投資額の負担は大きな金額になってまいります。

新規就農者の農業経営基盤の整備は重要な課題でございますので、地方創生も視野に入れ、関係機関とも緊密な連携を取りながら、引き続き調査研究してまいります。

防災営農の補助残への市単独の上積みについては、以前10%としておりましたが、行革の一環でもありまして、一旦見合わせております。

ただ、一方で未来をつくるという意味でも新規就農をする人たちに5%でもどうだ、とのご提案であろうと思えますけれども、新規の就農に対して、初期投資でありますとか、い

ろんなものもございますので十分に検討をできると思っております。

ファームサラリー、いわゆる新規就農者や農業後継者の育成を旨とした青年農業者を対象とした助成制度の一つと理解しております。

鹿児島県内にもございますが、詳細を把握出来ておりません。

青年就農給付金事業は、年度により給付に対する要件が見直しされてきており、受給のハードルが高くなる傾向です。

新規就農者を確保するためには、何らかの支援を検討する必要がありますと考えております。

- その他の質問事項
- 災害・防災対策について
- 空き家・空き店舗の有効活用について



たるたるお披露目セレモニー

本格的な高齢化社会の到来に向けて 本市は大丈夫か



川尻 達志 議員

問

わが国は団塊の世代と言われる方々がいよいよ高齢者となってまいります。施設へ入れるか、お金は大丈夫か、本市では在宅医療を推進しているが、地域力、家庭力が衰えていく中、本当に根本的な解決になつていくのか？さらには介護従事者の不足が懸念されているが、現状をどのように認識され、どのような対応を考えているのか、お伺いします。

答

本市においては今後10年間75才以上の高齢者は減少するという推計がされており、施設については慎重な対応が必要であると考えている。

在宅医療については、高齢者の8割が住みなれた家庭や地域で生活したいと考えておられるが、様々な課題を抱えている。家族介助者の高齢化、独居高齢者の増加、買い物・病院受診時の交通手段の確保等深刻な課題と考えている。介護従事者の不足についても垂水中央病院の職員の半数、市内のグループホーム等の3分の1が市外からの人であり、介護の担い手を確保するのは現実的にますます厳しいと予想している。

問

カンパチの種苗の生産が本格的に始まってから一定の年数が経つたが、その現状と課題についてお伺いします。

答

平成23年に60万尾生産可能な施設として稼働している。現在は40万尾を生産し、10センチサイズで154円で販売されているが、天然ものに対し、15センチ小さく生育も遅いため成魚に至るまで3年と約1年長く育成率も天然ものと比べると劣っている。

人工種苗については、重要な課題と考えている。色々なデータを取りながら進歩していくと考えている。弱点もあり、水産業の方には申し訳ないが、少しでも導入していただければと思う。

降灰除去の優先順位は どのように判断するのか！



篠原 静則 議員

問

降灰除去について。5月21日、桜島の大規模な噴火により、市内中央地区に大量の降灰があり、散水車やロードスweeperもフルに活躍したと思うが、降灰除去のルール、優先順位について教えていただきたい。さらに側溝に溜まっている（蓋付き側溝）降灰除去についても教えていただきたい。

答

また、旧国鉄跡地、浜平のトンネルの利活用について、災害時等の迂回路、農耕用車両道路として利用できないのか。市の考え方は。

策特別措置法に基づき、年間を通じて1平方メートル当たり、1kg以上の降灰があつた場合、清掃にかかった経費の2分の1、また、2.5kg以上では、3分の2を補助することとなっている。今年に入り、活動が活発化し、1月から4月までで7.2kg以上、昨年度の1年間の降灰量をすでに3kgほど上回っている。作業については、噴火があつた際、職員が現地を確認し、市民生活に多大な影響がある、また、車両の通行に危険を伴う

と判断した場合に契約業者に出動要請を行い、業者がどの路線から始めるか、判断をする。場所によってすぐに清掃する路線、作業が遅れる路線があるが、そこについてはご理解いただきたい。市道以外の集落道、農道は、環境整備班で対応。優先順位については、特に降灰量が多い地区や幹線道路から優先に除去している。

また、側溝の降灰除去については、集落のボランティア作業等で実施されており、大変感謝している。集落間、蓋のある区間は、市の単独作業で実施している。

浜平トンネルは昭和34年に施工され、建設後55年が経過している。活用できるようであれば、国道の混雑や災害時の迂回路として便利になると考えられるが、トンネル自体が老朽化しており、市民の安全を考えると通行を許可することは困難であるので、トンネルの利活用については難しいと考えている。



平成27年第2回定例会に付議された事件審議結果一覧

番号	件名	審査結果
議案 第44号	垂水市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第45号	消防本部消防ポンプ自動車購入契約について	原案可決
議案 第46号	垂水市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決
議案 第47号	平成27年度垂水市一般会計補正予算（第1号） 案	原案可決
議案 第48号	災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材購入契約について	原案可決
議案 第49号	水之上小学校体育館新築工事（建築）契約について	原案可決
議案 第50号	平成27年度垂水市一般会計補正予算（第2号） 案	原案可決
議案 第51号	平成26年度垂水市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	継続審査
議案 第52号	平成26年度垂水市病院事業会計決算の認定について	継続審査
陳情 第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採 択
意見書案 第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書案	原案可決

国道整備促進特別委員会 による要望活動

平成27年7月27日に垂水市議会国道整備促進特別委員会は、垂水市長と共に国土交通省九州地方整備局大隅河川事務所へ、8月3～4日には上京し、国土交通省道路局長、技監並びに国土交通省幹部の皆さんと森山裕衆議院議員をはじめ関係国会議員の先生方に次の内容で要望活動を実施しました。

◆垂水市二川深港地区で発生した土石流対策

◆通行止めになっている国道220号（深港橋）の 早期の規制解除

◆抜本的な整備のための予算の確保

◆国道220号の整備促進（牛根地区の歩道整備等）

今回の要望行動は、凶らずも「深港地区土石流災害」とタイミングが重なったことから、例年実施の「国道220号の整備促進」よりも「深港地区の土石流災害復旧」に重点を置いた要望活動となりました。

◎常任委員会等審査結果◎

産業厚生委員会

6月8日に産業厚生委員会が開催されました。

今回の審査は、平成27年第2回定例会で上程されました垂水市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案を審査した後、可決しました。



総務文教委員会

6月9日に総務文教委員会が開催されました。

今回の審査は、平成27年第2回定例会で上程されました議案第45号 消防本部消防ポンプ自動車購入契約、議案第48号 災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材購入契約及び議案第49号 水之上小学校体育館新築工事（建築）契約について、審査した後、可決しました。

また、陳情第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請については、審査の結果採択し、意見書案の一部修正を行い、提出する事に意見の一致をみました。

予算特別委員会

◎主な議題

6月11日、22日に平成27年度一般会計補正予算第1号案及び補正予算案第2号案を審査する予算特別委員会が開催されました。

総務課

問 人事評価制度というのが28年の4月から施行が義務付けられているわけだが、明確にそういう評価は出来るのか。

答 主観が入るような事が起こらないように、評価する側もされる側も研修が必要となる。今年度は評価する側の研修を行う。

問 社会保険庁であったような個人情報流出については、本市では大丈夫なのか。マイナンバー制度では銀行口座まで抜けていく可能性がある。

答 現在、本市では起こっていないが、本市で設けてある設備のファイヤーウォールやウイルス対策等のソフトで検知が出来れば、その時点で駆除をしたりメールの配信を止めるので、直接職員に届く事はないと

考えている。

企画政策課

問 松ヶ崎地区の野外ステーションを詳しく教えてほしい。

答 松ヶ崎地区公民館が申請を致しまして財団法人自治総合センターから採択を受け購入する。目的と致しましては、花見と野外イベント等の活用、災害時の炊き出し、ステーションが机としても使える仕様となっている。組み立て式の野外ステージでアルミ製簡易折りたたみ椅子、リアカー等も付属している。

問 空き家リフォーム促進事業の補助金での課題は何なのか。

答 垂水市在住の方の子育て世帯の建設に対しての助成等はどう考えるのかと、言ったような問題がある。制度に対する要望や問題点があれば改正等を含め調整していきたい。

問 4つの地区の過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業の中心は。

答 大野地区は、遊休農地の再生化によるサツマイモの生産規模の拡大、それからつらさげ芋の生産拡大のための干し場の建設、新事業と



垂水地区まちづくり講演会

してニジマス養殖の環境整備事業を行う。牛根境地区は、空き店舗の改修等によりふれあいの拠点づくり、地域外等との交流促進・商品開発等を行う。協和地区は、足湯等の設置、温泉ソムリエの講習会等の知の世代間交流事業、郷土誌・文化財の小冊子等の作成、相撲土俵の改修、かんぱち祭り等への参加等を行う。終原地区は、街路灯等のLED化や花の植栽、地区の夏祭りの復元、おろごめ等の伝統行事等のDVD化等を行う。

問 垂水地区の過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業は。

答 本年度から計画策定に向けた準備を進めており、まちづくりに関する講演会の実施を皮切りに計画策定、委員会の立ち上げ、住民アンケート等を予定している。

財政課

問 今回購入する公用車はボンゴタイプのワゴン車か。

答 これはワンボックスカーで7人乗りのハイブリッド車としている。これは本市がハイブリッド車を1台しか保有しておらず、近隣市町村で一番保有台数が少ないため。

問 今回購入する公用車は市長専用車か？それとも職員も使えるのか。

答 市長優先車である。専用車ではなく優先車として一般職員も使える様に考えており、調整をすれば利用できるのではない。

問 現在の市長優先車であるプリウスで不都合があったのか。

答 視察等で課長随行が結構あるため効率的な運用が出来る事と長距離移動の際に荷物が多く積めるためである。

問 高級なワンボックスカーを買わずにグレードを下げて2台買えば良いのでは。

答 市財で買える財力は本市にはないために、ふるさと納税使途選定委員会に審議をしてもらい1台を採択されたため、2台の購入は出来ない形になっている。

保健福祉課

問 スプリングクラー設置事業に至った経緯は。

答 消防法の改正により、小規模多機能型等が事業の対象になったため。年齢に応じて対策を取ると言うのは重要だと思いが、今までの

検診率と課題は。

答 平成17年から19年まで、県のモデル事業で歯科保健対策を取り組み、その結果、有病率は改善していたが、1歳児歯科検診と2歳児歯科検診を取りやめた23年度以降虫歯が増え、県内でも悪い所になった。そのため、従来の検診は残したまま更に5歳児の永久歯が生える時期に検診を行いたい。

農林課

問 荒廃農地再生事業補助金が今年、新たに計上されているが、内容は。

答 耕作放棄地が年々増加傾向にあり、国庫補助での耕作放棄地解消の事業を行っているが、対象外になっている箇所について、市単独で再生した農地で営農した方へ交付金を交付する制度になる。

問 食育推進員の仕事、内容、どういう事をするのか。

答 食育の計画についての調査・検討・審議をすることが大きな仕事としてある。今年度は検討会を3回予定している。

問 重機借上料や工事請負費が少ないのではないか。

答 今後財政課の理解を得られるべく努力をして参りたい。また、出来ない場合には地元住民にきちんと説明をしていく。

問 肥育用素牛導入助成事業補助金について状況を。

答 現在、子牛価格が上昇しており、肥育後出荷をしても人件費が出ない状況にある。そのため、肥育農家の経営の安定の一助という事で子牛価格の5%以内を助成する事業である。

問 道路降灰災害復旧作業ではどの辺りを対象とするのか。

答 海潟地区や牛根麓地区等桜島に近い所を中心にほ場内の農道で農作物の成長に支障がある所を予定している。

水産商工観光課

問 道の駅の修繕料とはどういうことをするのか。

答 ボードウォーク板の間に灰がたまり板が反ったり割れたりしている。歩行者がつまづいて転倒する恐れがある事からこの部分の修繕を行う。また、ほかには足湯周辺の植栽があるため風景が座って見られな



垂水市水泳記録会

いとのアドバイスにより抜根をして移植する。

問 以前、掘削した井戸の調査があるが、どのようなものか。

答 今まで掘った源泉を汲み上げる量を調整しながら、どの程度汲みあげたら塩分が出てくるのか、調査して、汲みあげる量を調整し今後利用していきけるかの調査である。

問 婚活イベントで結ばれて、子どもも生まれた人たちもいるし、子どもが増えてくる可能性もある。もう少し補助金を出せないか検討してください。

答 次回時には増やしていけるようにしたい。

土木課

問 子育て世帯向け住宅リフォーム等促進補助金事業について、利用者がいると思うのか。

答 一般世帯が12件、子育て世帯がすでに6件きているところで活用はされている。

問 橋の長寿命化計画はどのような体制になっているのか。

答 市道にかかる104橋を50年間で修繕や補修工事を行っていく。

また、5年毎の点検、10年毎の計画見直しをしていき、対応していく。

問 道路維持として、工事箇所は。また、5年毎の点検、10年毎の計画見直しをしていき、対応していく。

答 田地明垂桜線の舗装改修、垂水1号線の道路改修工事、城山団地2号線の道路法面工事。橋梁補修工事が中州橋、上本城橋、花子橋、大中野橋、第3元垂水橋。

振興会要望箇所として新城麓根本原線ほか1路線が区画線が消えているので区画線の設置工事。垂水小周辺のゾーン30路面表示設置工事。高野線の舗装工事。小浜・大浜線側溝の敷設工事である。

教育総務課

問 東進ハイスクールの受講について、目標が必要だと思うが、事前に垂水高校と話し合いを持ち目標が立っているのか。

答 具体的な目標は立っていないが、入学者を増やすためには実績が一番大事であり、1年生の時から学習させるよう努めていただきたいと、校長先生へ申し上げている。

学校教育課

問 食缶の材質は。

答 食缶は外が樹脂製で保温ができる内側はステンレス製の角型食缶になっている。

社会教育課

問 ブックスタート事業を進めるための課題や検討は。

答 利用してもらうために、県立図書館推奨から選書し、面談によりその中から2冊を配布する。

問 国民文化祭での取組は。

答 10月31日から11月15日にわたって開催され、本市では、和田英作・和田香苗絵画コンクール、加来耕三記念講演会と大隅の歴史をゆくり楽しんでいただくツアー及びたるみずふれあいフェスタ2015を予定している。

問 降灰量が多いことから協和地区公民館の駐車場と相撲道場の土砂の除去をお願いしていたが、状況は。

答 降灰除去だけでは、工事請負費できるが、捨て土の処理費用が多額になるため、出来る範囲で除去をしていきたい。

市議会へ行くこう

平成27年第3回定例会会期日程(予定)

8月28日 本会議・地方創生等特別委員会

9月8日 一般質問

9月9日 一般質問

9月11日 産業厚生委員会

9月14日 総務文教委員会

9月17日 議会運営委員会

9月18日 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。

※委員会の傍聴は、委員長の許可が必要です。

※8月28日、9月18日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。

※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。



議会報告会を開催します。

今年で3回目となる議会報告会を開催することとなりました。これは、市民の皆様へ垂水市議会の事についての説明や市民の皆様からのご意見をいただきながら、今後の議会活動の取組に活かさせていただきたいとの思いから年に1回開催しているものです。

今年は9月末に、昨年同様各校区公民館で皆様が少しでも参加しやすくなるよう午後7時から開催いたします。

市民の皆様のご来場を議員一同心からお待ちしています。

開催日及び開催場所は下記のとおりです。

- 9月28日(月) 境地区公民館、牛根地区公民館
- 9月29日(火) 松ヶ崎地区公民館、協和地区公民館、
- 9月30日(水) 新城地区公民館、柎原地区公民館
- 10月1日(木) 水之上地区公民館、大野地区公民館
- 10月2日(金) 垂水市市民館



議員表彰

6月4日、第90回九州市議会議長会定期総会が長崎市で開催されました。その中で、森正勝議員が理事としての職責に対する感謝状を授与されました。

また、6月17日、第91回全国市議会議長会定期総会が東京都の日比谷公会堂において開催され、本市議会から川尻達志議員と、本年4月29日付で勇退されました宮迫泰倫前議員が議員在職20年以上の特別表彰を、授与されました。



編集後記

度重なる深港川の土石流災害で被害を被られた深港振興会の皆様に、心からお見舞い申し上げます。国道220号の通行止めは、買い物・通院などの市民生活を始め本市の経済に、深刻な影響を与えています。早期復旧に向けて市議会も全力を尽くします。

垂水市議会事務局

TEL 32-0132 (FAX兼用)

メールアドレス

t_gikaie@city.tarumizu.lg.jp

お詫びと訂正

市議会だより前号(103号)の議員紹介欄において、川越議員と持留議員の所属が無所属と記載していましたが、川越議員は自由民主党、持留議員は日本共産党の所属でありました。また、川畑議員の当選回数が9回となっておりましたが、10回でありました。お詫びし訂正いたします。